

平成26年度 指定管理者評価結果

所管課 健康福祉部 障害福祉課

1 施設の概要等

施設名	岐阜県立サニーヒルズみずなみ
施設所在地	瑞浪市陶町猿爪657-34
指定管理者 (共同体構成員)	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
主な施設	入所室、事務室、会議室、食堂・厨房、浴室、機能回復訓練室等

2 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時には、勤務中の職員だけで対応可能か（特に夜間はどうか）、近隣住民との関係など検討すべき課題はあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の緊急時（利用者の急変）は、夜勤職員2名・管理宿直職員1名更に看護師を1名配置しており、迅速な対応可能。待機看護師は全員15分以内で駆けつけることができる。火災・大規模災害時は、年1回の地域住民参加の総合防災訓練を今後も継続することにより、連携強化を図っていく。 更に瑞浪市と「災害協定」（平成25年3月締結）が締結され、福祉避難所として指定されていることを施設経営委員会・地域懇談会など地域との会合により周知していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴利用のみのニーズが、日中一時・短期入所へと移行している中、重症心身障がいの方にも対応できるよう、事業内容を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の希望もあり、施設として対応していかなければならないことは承知している。医療的な設備や夜間の緊急体制を整備する必要があるので、県・市と協議を重ねながら検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の理解交流が進んでいる地域性が見られるので、地域生活移行の可能性はあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度1名の利用者が地域移行されたが、現在では地域移行を望まれる利用者はいない。身体障がい者が利用できるグループホームがなく、取り組みが遅れている。利用者への情報提供として昨年度、名古屋市にある「自立ホーム」を見学された利用者は2名いる。平成26年度から「瑞浪市総合支援協議会」の会員となったので、重症心身障害児・者及び地域移行に向けての情報共有・情報交換をしていきたい。

3 平成26年度評価結果

評価員会議
の評価・意見

【 評価結果 】

項目		平均点	評価
1	管理基準の充足状況	3.20	優
2	設置目的の達成状況	3.60	優
3	公共性の確保の状況	3.20	優
4	経営状況	3.20	優
5	その他派生的効果等	3.20	優
総合評価		3.28	優

(評価方法：5名の評価員による1～4点の4段階評価)

(努力が不足している ← 1 2 3 4 → よく努力している)

【 評価についての意見】

○管理基準の充足状況

・嗜好調査を実施し、希望の食事メニューや温度などの意見を聞き、希望に応じた配膳ができるよう工夫している点や、個別支援計画における利用者のニーズ把握の一手段として、家族面会日を相談日として定期化するなど利用者の視点で工夫を行っている点が評価できる。

・障がい者施設の機能を活かし、地域の在宅障がい者の受け入れを積極的に行っている点が評価できる。

・夜勤と日勤の業務量を洗い出し、利用者の状態による体制の在り方を慎重に探り、継続的に検討することを期待する。

○設置目的の達成状況

・施設入所の利用率が高い。また、重症心身障がい者（児）の短期入所と日中一時支援については、医療的ケアが必要な利用者も受け入れている点が評価できる。

・短期入所や日中一時等の事業啓発に努め、更に地域の障がい者ニーズに応えていくことを期待する。

○公共性の確保の状況

・危機管理対策として、夜間を想定した総合防災訓練を地域住民も参加して実施している点が評価できる。

・CS調査や自治会などを通して要望・希望を受け入れ、検討する機会を設け、個々の生活の向上に努めている点が評価できる。

・コミュニケーションにおける利用者の希望に関して、業務中心になっていないか、利用者が主体でなく介護者主体になっていないかなど、ケアに対する意識を継続的に確認することを期待したい。

	<p>○<u>経営状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の委託、高効率照明（LED）導入、環境エコ活動及びデマンド（電力使用量監視）などで、経営の効率化を図っており、経営状況は概ね適正である。 ・短期利用者の減少の更なる原因分析と対策を実施されたい。また、重度化、多様化する利用者のニーズにより応えることができるよう更なる職員配置の見直しを検討されたい。 <p>○<u>その他派生的効果等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サニーヒルズ祭、地域の文化祭、小学生の介護体験、宅老所や幼稚園との交流会、陶ふるさと福祉村への参画、地域交流サロンなどいろいろな機会を通じて、地域との連携強化を図っている点が評価できる。 ・利用者の障がい特性により実現には至っていないが、地域生活への移行の取り組みには今後の可能性がみられる。 ・地域との関係はマンネリ化していないか継続的に見直しを行い、利用者にとっての新しい体験の機会が提供されることを期待する。
<p>県の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。